

日本基礎老化学会運営細則

1(入会と会費)

1-1 本会に入会を希望する個人または団体は、学会ホームページの入会申込フォームから入会手続きを行う。学生会員以外の会員は入会申込と会費の入金確認、学生会員は入会申込と学生であることを証明する書類の確認をもって申込完了とする。

1-2 年会費は下記の通りとし、本会事務局または本会の指定する機関に納入する。

1-3 年会費

1-3-1 正会員は 7,000 円/年、理事は 15,000 円/年、評議員は 10,000 円/年、学生会員（学部生から大学院生）は 無料とする。

1-3-2 賛助会員費は一口につき 50,000 円/年とする。

1-3-3 2年間会費の納入のない場合は、その後の会務情報を発送しない。当該会員は、年会に正会員として参加することはできない。3年間会費の納入がない場合は、会費納入義務違反となり、会員の資格を失う。

1-3-4 休会は休会届け（様式あり）を提出し、理事会で審査する。休会は最長2年間とし、年会費が免除される。

2(役員を選出等)

2-1-1 正会員による理事の選挙は連記無記名投票とする。インターネット等を用いた電磁的方法による投票も可能とする。

2-1-2 理事長宛の届（任意）の提出により、理事を辞職することができる。辞任による理事の欠員は、選挙管理委員会のもとで補選を行う。

2-2-1 評議員候補者は、本会理事あるいは評議員1名以上の推薦（年間2名まで）と評議員資格申請書（様式あり）を事務局に提出する。評議員候補者は、2-2-2 から 2-2-4 の条件をすべて満たす正会員とし、評議員資格は定例理事会（1月および6月）で審査する。

2-2-2 候補者は継続して年会費を5年完納していること。

2-2-3 候補者は過去5年間に年会あるいはシンポジウムに3回以上出席（発表の有無を問わない）していること。

2-2-4 候補者は過去5年間に老化研究に関連する総説あるいは原著論文1編以上を有していること（言語、雑誌、著者順は問わない）。

2-3-1 評議員の継続任期中通年5年間に3回以上評議員会を欠席した時には、評議員の資格を失う。ただし、評議員任期が5年に満たない場合は、評議員任期中の評議員委員会についてその半数以上の出席とする（評議員会への委任状は評議員資格維持のための出席とは認めない）。

2-3-2 理事に選出された評議員は、その任期中、評議員の資格を失う。

2-3-3 理事は、理事退任後、所定の手続きなく評議員に再任される。

2-3-4 理事長宛の届（任意）の提出により、評議員を辞職することができる。

2-3-5 評議員は、理事改選に合わせて、評議員の継続意向確認（様式あり）を提出することにより、継続することができる。継続意向が確認できない場合は、評議員資格を失う。

2-4-1 理事の選出に係わる選挙事務は選挙管理委員会がこれにあたり、開票する。

2-4-2 理事の選出に関する選挙結果は、学会サーキュラーに公告する。

2-5 選挙結果が確定後、選出された理事候補者はその任期発効に先立ち、互選により理事長候補者を、また理事長候補者は副理事長、庶務理事、会計理事、編集理事を指名することができる。庶務理事と会計理事は、補佐候補者を指名することができる。

2-6 理事の任期は、会則第 18 条の規定により原則として 4 月 1 日から 2 年後 3 月 31 日までの 2 か年とする。

2-7-1 通算 10 年以上にわたって役員を務めるか、または本会の発展に特に顕著な功績のあった、65 歳以上の正会員は、評議員あるいは理事 1 名以上の推薦、理事会と評議員会の決定を経て名誉会員とすることができる。

2-7-2 特に本会の発展あるいは基礎老化研究に顕著な功績のあった国内外の非会員を評議員あるいは理事の推薦により理事会の決定を経て名誉会員とすることができる。

3(会議)

3-1 総会

3-1-1 総会は正会員数の 1/4 以上の出席(委任状も含む)で成立し、その議決は出席者の過半数を必要とする。委任状は電子メール等を用いた電磁的方法による提出も可能とする(形式は別に定める)。

3-1-2 総会の議長は、原則として大会会長が務める。

3-2 理事会および評議員会

3-2-1 理事会および評議員会は、それぞれ 2/3 以上(委任状も含む)の出席で成立し、その議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。委任状は電子メール等を用いた電磁的方法による提出も可能とする(形式は別に定める)。

3-2-2 3 評議員会開催時に評議員議長を互選により選出する。

3-3 学術会議

3-3-1 学術会議等の開催に当たっては、参加費を徴収することができる。

3-3-2 年次学術集会における演者は、開催年度に年会費を納入した正会員、学生会員に限る。非会員の参加については、そのつど定める。

3-3-3 学術会議等は学会による監査の対象とする。監査方法は別に定める。

4(附則)

4-1 本学会事務の一部は他の適切な機関に委託することができる。

4-2 本細則を変更する場合は、理事会および評議員会の議を経て総会に報告するものとする。

4-3 本学会の予算管理口座は、任期中の理事長名で管理し、理事長交代ごとに変更届等を用意し、口座名義を変更する。

4-4 本運営細則は、平成12年4月1日より施行する。

(平成16年4月1日 一部改訂)

(平成25年6月5日 一部改訂)

(平成27年6月14日 一部改訂)

(平成30年6月2日 一部改訂)

(平成30年7月4日 一部改訂)

(令和元年6月8日 一部改訂)

(令和2年8月19日 一部改訂)

(令和3年5月25日 一部改訂)

(令和4年1月12日 一部改訂)

(令和4年6月15日 一部改訂)

電子メールによる委任状様式

日本基礎老化学会(会員、評議員、理事)各位

XX年XX月XX日に開催される総会の成立にあたっては正会員の1/4以上の出席(委任状含む)、評議員会、理事会の成立にあたっては構成員の2/3以上の出席(委任状含む)が必要となります。

欠席する方は、下記の引用部分をコピーの上委任状に必要事項を記入し、学会に登録済みの電子メールアドレスから、以下宛に送信下さい。

secretariat@jsbmg.jp

----- 以下 返信引用部分 -----

日本基礎老化学会 20XX年度総会(評議員会、理事会)に欠席します。

会員番号:

所属(勤務先名):

氏名:

■委任状■

XX年 月 日

日本基礎老化学会 御中

私は議長(・その他 なんのたろべい氏)を代理人と定め、XX年X月YY日に開催される第XXX回基礎老化学会総会(評議員会、理事会)における全議案の議決権を委任致します。

(押印は不要です)

----- 以下 返信引用部分 -----

日本基礎老化学会理事長
殿

評議員の継続意向確認書

xx 年 月 日

以下のとおり、評議員の継続意向について申出いたします。

会員番号：

所属(勤務先名)：

氏名：

継続意向： 継続したい 継続しない

<提出先>

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム内

日本基礎老化学会事務局

E-mail: secretariat@jsbmg.jp

Fax: 03-6267-4555

(押印は不要です)

----- 以下 返信引用部分 ----- 評議員申請書 (別途様式あり)

休会届け (別途様式あり)